

# 私たち全私保連の保育運動 「新しい時代は子どもから」は、 こんな運動です！

…これまでの経緯と今後の活動

## ●これまでの経緯

全私保連ではこれまで、環境づくり運動（平成13～16年）、子育てルネサンス運動（平成17～22年）、子どもの育ちを支える運動（平成22年～令和2年）など、保育を社会へ問いかける保育運動を展開してきました。そして令和3年度から「新しい時代は子どもから」という新たな運動を展開しています。

この新たな運動を始めるにあたり、私たちは何をしていくべきか、改めて問い直しました。現代社会を見つめると大きな変化が生まれています。価値観が多様化し、ICTの普及等によるライフスタイルの変化、さらには新型コロナウイルス感染症への対応等々、これまでとは比べものにならないスピードで社会は変化しています。このように変化していく社会の中で、子どもたちの育ちを守っていくことこそが私たち子どもに関わる専門家としての使命であると再確認しました。

それは、子どもを真ん中に、子どもの今を保障していくということです。そのためには、これからの新しい時代が、子どもが真ん中であるべきだと考えます。その私たちの思いを表したのが「新しい運動は子どもから」という運動名です。そして、子どもを真ん中にした社会を創っていくためには、子どものこと、子どもにとって何が必要なのか、を多くの人が理解し、実践していくことが必要だと考えました。それをまとめたものが、「私たちが伝えたい7つのメッセージ」です。

メッセージには、

- 子どもの思いを受け止めましょう
- 子どもの「遊び」を守りましょう
- 子ども自身に乗り越える力を育てましょう
- 子どもの「自分でやりたい」を大切にしましょう
- 子ども同士の関わりが大切です
- みんなで食べると美味しいんです
- 子どもは自然が大好きです



という私たちがいつも大切に、知ってほしい7つのことを記しています。昨年度は、このメッセージを広めていくために、新しいマークの作成、会員園への周知を図るためのチラシの配布、運動専用ポータルサイトの設置等を行ってきました。

## ●これからの展開

この新しい運動の展開方法ですが、これまでの運動が、どちらかといえば、保育関係者、特に園の職員や保護者から社会へ子どものことを伝えていこう、という手法で展開していました。その広がりが限定的であったとの反省から、これまで以上に直接的に社会へ訴えていくことをその基本にしています。

展開の具体的な方法として、これまで保育に関わりがなかった新たな層への浸透を図ることを目指し、YouTube などネットメディア、SNS を中心に「7つのメッセージ」を社会に伝えていきます。作成したコンテンツは、効率的でかつ効果的な運動展開ができるように、従来の紙媒体なども含めたクロスメディア展開など、より効果的な展開方法を行うこととしています。

本誌7・8月号では、3月に開催した誌上シンポジウムを掲載しました。このシンポジウムでは、これまで保育とあまり関わりがなく、なおかつメディアへ登場し各方面に影響力を持たれている、三浦瑠麗氏にご登壇いただきました。この収録動画は、7月より7週にわたりYoutubeで順次配信してきました。この配信を通して、従来保育に関心がなかった層へも広く浸透していくことを願っています。

今後は、YouTube への「7つのメッセージ」解説動画の掲載、解説小冊子やキャンペーンソングの作成などを行い、より広い層へ「7つのメッセージ」を広めていきます。

社会を変えていくのは大変なことです。しかし、全私保連には1万を超える会員園とその園に関わる多くの保育関係者がいます。みなさま一人ひとりの思いが合わされば、きっと変えていけると信じています。みなさまもこの「7つのメッセージ」を一人でも多くの人に伝えてください。そして共に、子ども中心の新しい時代を創っていきましょう。

\*本誌では、今後「7つのメッセージ」のミニ解説を順次掲載していく予定です。